



こんにちは

白子の議会

です

第134号

令和元年11月7日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 福島地区合祀神社(熊野神社・日月神社・八坂神社)

第3回 定例会

令和元年第3回定例会が9月10日と12日開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問…………… 2～6ページ
- 補正予算・決算認定等の質疑応答…………… 7～8ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月12～16日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

2020年度以降の

総合戦略について

宗島 理仁 議員

議員 地方創生において、当初、総合戦略で予定されていたテレワークやeラーニングが実施できず、設備環境整備や、ICTを利用した通学児童・生徒を見守る支援策が実施されず見送られました。

このような状況を真摯に反省し、来年度から第2期総合戦略の策定をしなければならぬかと思いますが、2020年度以降の総合戦略及び地域再生計画の策定の予定はあるのか伺います。

切れ目ない取り組みに向けて

町長 地方創生の進化に向けて、切れ目ない取り組みを進めることが求められていますので、現行の白子町総合戦略の進捗状況を検証するとともに、

に、実情を踏まえた総仕上げを実施いたします。そして、次期の白子町総合戦略作成に向け、課題の洗い出しなどを進めていく必要があると思っています。

防災ハンドブックの作成状況は

議員 防災ハンドブックを作成するに当たっては、新たな想定によるハザードマップなどの情報を盛り込んでいくかと思っています。

いざというときにどう行動すればよいのか、普段からどのようなに備えておけばよいのかを防災ハンドブックを活用し、家庭における防災対策を進める一役を担わなければならないかと思えます。今回新たに作る防災ハンドブックについて、具

体的な内容はどのようなものなのか伺います。

事業完了に向けて

町長 進捗状況ですが、4月に事業計画を提出、5月に県による事業選定に係るヒアリングで、内容審査を経た後、7月に補助対象事業として決定されたところです。

防災ハンドブックの様子は、A4サイズで、36ページほど考えており、来年度2月末の事業完了に向けて進めていく予定です。

小・中学校における超高速通信網の整備について

議員 文部科学省は2020年度から2022年度の3年間で、小・中・高校の全ての教室に超高速大容量、最大毎秒10ギガビットの無線通信環境を整備することを目指すとし、授業で、児童・生徒が1人1台のパソコンを使って支障が生じな

いよう、補助金制度を創設して、学校の取り組みを促すとしています。

AIなど先端技術によって急速に社会が変化する中、教育現場でデジタル技術の活用を前提とし、通信環境などの整備が急務とされていますが、町内の小・中学校での現状と今後の予定について伺います。

活用を見極めながら

教育長 教育ICTの導入を今年度4月から本格運用を始めたばかりです。

まずはその結果、活用状況の成果等を検証していくのが先決であると考えております。

その内容を見ながら今後、検討してまいりたいと考えています。



有害鳥獣について

北田 百人 議員

議員 本年5月から6月に実施した有害鳥獣の駆除実績について伺います。

また、今後、猟友会の活動時間を見直す考えがあるか伺います。

昨年比24羽増

町長 本年の実績としては昨年と比べ計24羽増の、合計125羽を捕獲しました。協力してくれた方は延べ40名です。

効果的な活動時間については、猟友会の方と相談しながら考えていきたいと思えます。

小動物の捕獲について



議員 小動物による農作物への影響は生活を脅かすゆゆしき事態です。

捕獲に関して、箱わなの町民への貸し出し状況や、今後の捕獲枠増加の計

画についてお伺いします。

効果的な設置を検討

町長 箱わなは希望者に対し一ヶ月を目途に貸出しを行っています。

現在は51基を保有しており不足は発生していません。箱わなは一定の効果がありますが、依然として農作物の被害は減っていません。

それだけ有害鳥獣が増えていくということであり、今後はより効果が出るよう、餌や設置場所の検討をしたいと考えています。

中・大型動物の捕獲

議員 昨年のイノシシの目撃情報に続き、本年は鹿の仲間であるキヨンの目撃情報があります。

増加傾向にある中・大型動物を捕獲するには、

特性に見合った猟の免許が必要になります。

昨年は専門業者に委託しましたが、今後は自分の町は自分で守るという意味で、猟友会での対応を視野に、免許取得に向けた取り組みや補助の考えがあるのか伺います。

希望者には支援

町長 猟友会の中の希望者に対して、町としても支援したいと考えています。

猟友会員の減少問題について

議員 私自身これまでに4年にわたり猟友会の維持継続について質問してきました。

質問の都度、猟友会と協議、意見交換により方向性を決めていきたいという回答でしたが、猟友会員がますます減少しているという現実を認識していますか。

これまでどのような意見交換を行ったのか、そ

の中で猟友会側からどのような意見が出されたのか伺います。

具体的な話は無い

町長 猟友会員とは何度か話の機会がありました。増員に関する具体的な話や今後の展望についての話は出ておりません。

移住・定住推進事業について

議員 現在までの白子町所有地の土地整備状況について伺います。

また、旧関保育所跡地があります。この土地の区画整備の完了見込みがいつ頃か伺います。

定住促進活動の実施

町長 白子中学校南側の土地や、中里町営住宅の空き地の活用として、定住促進につながる取り組みを行っています。

旧関保育所跡地については、なるべく早めに活用できるように区画整備を

進めたいと思えます。

空き家対策について

議員 空き家バンクの登録状況や今後の取り組みについてお伺いします。

ハードルが高い

町長 一年半程経過した現在、登録件数は26件、うち11件が成約済、4件が商談中です。利用登録は現時点では2件のみの成約です。問い合わせは頻繁にあります。なかなかマッチングには至らず、空き家の活用はハードルが高いです。

今後も、荒廃した空き家物件も含めて活用していくために、国の法的な整備、金銭的な支援も含めて検討したいと考えています。



地域活性化について

東海林 東治 議員

参加と協働の まちづくり

議員 地域おこし協力隊は、総務省により制度化され、全国44自治体で取り入れ、地域おこしや地域暮らしに興味のある都市部の若者を受け入れて、地域ブランドや地場産品の開発、販売プロモーション、都市住民の移住・交流支援、農水産業への従事、住民生活支援などの地域協力活動に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図り、空き家対策の活用を促進を図る活動であります。

町長 昨年12月の地域要件の見直しで、一部条件下で活用することが可能になりました。

生活拠点を移し、地域おこし協力隊として一定期間その地域に居住し、地域ブランドや地場商品の開発、販売、PR、農水産業への従事、住民の生活支援等の地域協力活動を行い、定住・定着を図る良い制度と思います。現在その制度をまだ活用しておりません。

第5次総合計画の方針に従いまして、受け入れ体制の整備、地域住民や企業、各種団体のニーズを調査をしてまいります。

特別交付金として、報酬費、活動費として、隊員1人当たり年間350万円、450万円を地方自治体に財政支援をしております。

白子町が、総務省より指定を受けたのは、昨年12月で、それから約10ヶ月の期間に活用を受け入れを検討していない点を伺います。



域学連携で まちおこし

議員 大学生と大学教員

が地域の現場に入り、地域住民と共に課題解決、地域づくりに継続的に取り組む、地域資源の発掘、地域振興プラン作り、地域マップ作り、地域教科書作り、地域課題の解決に向けた実態調査、地域ブランド作り、地域商品開発・プロモーション、アンテナショップの開設、観光ガイド実践、海外観光客向けガイドブック作り、環境保全活動、子ども地域塾運営、高齢者健康教室等々の様々な活動事例があります。

この域学連携地域づくり活動には、特別交付税措置がありますが、これを取り入れる考えはあるか伺います。

人材育成に資する

町長 総務省、経済産業省、文部科学省等々国を挙げて推進されている活動であります。

地域に気づきを促し、また地域住民を初めとする人材育成に資するものであります。

大学教育活動の一環としての取り組みで、地方公共団体や大学等、その地域住民や地域づくり団体等が継続的に参画して実施する地域おこし活動であります。

活動に要した経費は、地方公共団体に対して特別交付税措置が実施しますので、事業を実施する場合は活用できると思います。

ただ良いことばかりではなく、色々課題もあると聞いております。少し状況把握をしてみたいです。

プレミアム付 商品券の 取り組みは



議員 対象者の数、商品券購入までの流れ、1枚当たりの金額、購入先、使用期間、取扱事業者等を伺います。

3歳未満子育て世帯 と住民税非課税者

町長 子育て世帯は、平成28年4月2日、令和元年9月30日生まれの子どもがいる世帯で、170名を予定しております。

住民税非課税者と想定される方は、購入引換券の交付申請が必要です。子育て世帯は交付申請は不要で、9月下旬に購入引換券を郵送いたします。

非課税者と想定されている方には、7月下旬に申請書が郵送されていますので、記入して健康福祉課に申請してください。期間は11月29日までとなっております。

1枚当たり500円券で、4万円、5万円分の商品券の購入ができます。

購入先は、町内2ヶ所の郵便局で、町内のほとんどのスーパー、各店舗で利用頂けます。

使用期間は、本年10月1日から来年2月29日までとなっております。

イカダのぼり大会は 25年続いているが 今後も継続するつもりなのか

石井 和芳 議員

議員 イカダのぼり大会は、白子町の知名度アップ、観光白子に貢献してきた立派なイベントであります。

しかしながら本イベントが白子町経済にどれだけ貢献してきたかが全く検証されていません。また本イベントを実施するために役場職員が延べ214人の労務提供をしています。職員平均給与の月額、2万4千円になり5百万円以上の人件費がかかっています。表面的には補助金を百万円支出しているだけに見えますが、実態はそれ以上の人件費はかかっています。これだけ経費をかけてどれだけ経済効果があるのか伺います。

お金をかけず楽しく
まちづくりをする
イベントである

町長 町財政がひっ迫していた折に、お金をかけずまちづくりを進めるために考えたイベントであります。

効果として、南白亀川の安全性が高まったこと。第二に「南白亀」と読めない県職員も多かつたが、今は読めるようになったこと。

イベントにおける消費支出は、1艇6万円として50艇で3百万円とし、応援の皆さんが1人2千円支出すると4百万円となり合計7百万円の経済効果がある。

県に行つての評価は高いので続ける価値はあると思われれます。

議員 当初の目的はある程度達成できたものと思われれます。経済効果もそれほど大きくない状態で、このまま漫然と継続するのではなく再考すべき時期に来ている様に思っています。

たまねぎ祭り、
チューリップ祭りの
今後の方向性は



議員 たまねぎ祭りは、ブランド化も定着し、ある面では欠かせないイベントと思います。職員投入も90人程度と、それほど大きな負担とは言えないと思われれます。

しかし作付面積も30haと、増える兆しもありません。作付面積を増やし総売り上げが、2倍3倍になる方策を検討すべきだと思いますが、見解を伺います。

次にチューリップ祭りですが、規模は小さいがそこそこ集客しているようです。チューリップに限らず、全町的に花いっぱい運動を展開し、この

財源として農地の多面的支払交付金の活用も視野に入れるべきだと思いますが、見解を伺います。

たまねぎの作付面積の増加推進も町内の花いっぱい運動も実施しているが、上手いかない部分もある

町長 5、6haのたまねぎ農家も出てきており、売り上げで2千万円以上の農家も見られます。今後も大規模化は推進していきたい。

花の町づくりでは色々やって来たが、雑草問題、台風等の障害があり、上手いかない面がありました。反省しながら工夫しながら取り組んでいきたい。

イベントにおける休日出勤は割増手当の対象ではないのか

議員 町職員の休日出勤

に対しては、代休で処理している。1対1で処理されているが、労基法上休日出勤は3割5分増しの報酬を払わなければならない。この運用は違法性がある様に思えますが、見解を伺います。

5時間休日出勤したら1日休みを与えている

町長 ほとんどのイベントで丸1日分の労働をしていないので、この対応で問題ない。職員はこういう行事をお金抜きで考え、協力し盛り上げなければならぬ。

議員 心情的にはわかりませんが、「法は法」です。くれぐれも労基署に入られない様にしてください。



南白亀川ウォーキングコース 防犯灯の設置を

市川 隆子 議員

議員 南白亀川ウォーキングコースへの防犯灯設置の質問は3回目になります。工事中から、歩いている人や付近の住民から防犯灯はいつ付くのか、あるいは工事中のほうを設置しやすいのでは、などの声がありました。

工事が終了した今、こうした方々の声にどのように答えていくのか伺います。

もう少し 研究していきたい

町長 県と交渉したが、津波対策のために堤防を強化したので、不可能との回答でした。

今後、堤防に穴をあけることはできませんが、くつつける方法がないかももう少し研究させてください。

子育てしやすい 保育の充実



議員 内閣府の調査では、夫婦が願う子どもの数は2人以上ですが、それを下回る理由として、子育てや教育にお金がかかり過ぎるといふ現実があり、お金の心配なく子育てできる社会にする必要があります。

国は10月から保育の無償化を実施します。町では既に無償化しています。内容が同じなのか伺います。

また、保育の一環として給食の無償化、または軽減を考えないか伺います。

副食費は500円軽減

町長 現状で、内容は国とは少々異なりますが、今度は、5歳、4歳、3歳児が無償になり、所得制限もあるということです。副食費は、5千円徴収していましたが、国の基準が4千5百円なので、副食の内容は、今までと同じで500円軽減します。

脳トレ、リズムダンスなどの状況は

議員 町でも高齢化率が上がり、65歳以上で夫婦2人、独居の方が増えています。

特に独居の場合は、孤立しがちになりますので、それぞれの特性に合わせて、外に目を向けてもらうことも重要です。

自分が参加したいサークルが見つかった場合、移動手段も必要になりますが、参加しやすい近所の青年館などであれば、孤立化も防止できるひとつの方法になると思います。

町では、脳トレやリズムダンスなどの取り組みが始まっていますが、何か所でのような活動をしているのか伺います。

なるべく近くで参加できるような実施

町長 まず歩いて外に出たけりながら、健康教室に通ってもらうことを考えて、なるべく近くで考慮しながら開催しています。

重度化防止推進員が月1回、10地区で認知症予防の軽体操を、ミックストレーニングは週1回10地区で、リズムダンスは月2回国民体育館で実施しており、多くの方が参加しています。

また、自治区の集会所や青年館を借りて、地元のリーダーの協力で実施しています。

子ども医療費 高校卒業まで無料に

議員 現在、年齢の違いはありますが、全国全て

の自治体で子ども医療費無料化を実施しています。都道府県分に乗せする形で、高校卒業まで助成している市区町村は、病院、入院ともに3割を超えました。

町では現在、中学3年生まで所得制限なしで実施していますが、高校卒業までに拡大する考えはないか。また、対象人数予算も伺います。

来年度に向けて検討

町長 国の保育料無償化を実施することになったので、その財源活用のひとつとして、来年度から実施に向けて検討していきたいと思います。

対象者は2百人超、予算は300万から400万円ほどです。



**補正予算及び決算
認定等に対する
質疑応答**

令和元年度白子町一般会
計第2回歳入歳出補正予
算について

議案第8号

【大多和正之 議員】

議員 台風15号の配備態
勢また防災無線の放送内
容はどのように決定し放
送されたか、避難所への
避難者数を伺います。

町長 町の配備態勢は第
3配備で対応しました。
防災無線の内容は最終的
に総務課長が決定しま
す。避難者数は初日13名、
2日目から停電の影響で
30名ほどでした。

議員 停電の為、白子中、
関小学校は休校、白濁、
南白亀小学校は弁当持参
での登校と対応に違いが
ありました。停電の家
庭があり弁当持参が困難
な中、なぜ学校に備蓄し
てある非常食での対応を
しなかったのか伺います。

町長 今回は町内でも停
電箇所がまちまちでし
た。給食ができない時は
弁当持参が基本ですが、
今後は非常食の活用等も
考えたいと思います。

【宗島理仁 議員】

議員 近年、乳児家庭の
全戸訪問、乳児健診事業
等、子ども・子育て支援
新制度への対応を行って
きたと思います。

さらに、健康ポイント
事業が追加されており、
保健師等の専門職を含
め、健康福祉事業全体の
業務量の増大が明らかで
す。健康福祉課内での職
員数に増員はなく、適切
な人員配置に向けた取り
組みの必要性があるかと思
います。見解を伺い
ます。

町長 健康福祉分野にお
いて、職員の負担増を承
知しており、新年度の採
用により、職員数の確保
を予定しております。

【東海林東治 議員】

議員 総合戦略の計画委
託料300万円でありま

すが、計画を作成後、ど
う実施するかの実施計画
がない為、有効に活用さ
れていない点が見受けら
れます。総合戦略には、
議会、住民の意見を反映
する体制を強化するべき
と思います。

町長 委託料は、計画を
作るための予算であり、
効果的な活用をしている
と思います。

議会は、決めたものを
議決する場としますので、
参加は必要ないと思
います。
住民意見ですが、執行
部で叩き台を作り、議論
の上、作成しております。

令和元年度白子町介護保
険事業特別会計第1回歳
入歳出補正予算について
議案第10号

【宗島理仁 議員】

議員 現在、第8期介護
保険事業計画策定に向
け、地域密着型介護サー
ビスの提供事業者を公募

し、業者選定を進めてい
るようですが、今後のス
ケジュールについて伺い
ます。

また、事業者の選定に
際しては、一連の選定作
業をオープン化し、透明
性を確保しなければなら
ないと思いますが、どの
ような手法で透明性の確
保、業者選定の情報発信
をしていくのか伺います。

健康福祉課長 7月にグ
ループホーム整備につい
ての公募をし、2業者か
ら応募がありました。

9月に第1回の選定委
員会を開催いたします。
選定の透明化について
は、今後検討していきたく
と思います。

令和元年度白子町ガス事
業特別会計第1回歳入歳
出補正予算について
議案第11号

【大多和正之 議員】

議員 台風15号による倒
木で、ガス管の損傷で被害
が大分広がっていました
が、災害協定を結んでいる
業者に依頼したか、また復

旧態勢人員を伺います。
ガス事業所長 倒木によ
るガス管と水道管の損傷
で、ガス管内に水が入り
被害が拡大しましたので、
業者に依頼して復旧作業
を行い、ガス事業所職員
総出で対応しています。

財産の取得について

議案第12号

【宗島理仁 議員】

議員 旧リハビリテー
ションの財産を取得する
にあたり、取得した後の
事業計画を具体化するた
めのスケジュール、今後
の予定について、具体的
な内容を伺います。

町長 財産取得後のスケ
ジュールについては、未
定であります。迅速に
対応したいと思えます。



【石井和芳 議員】

議員 現況で1千2百万円での取得であれば、坪単価2千7百75円と割安に見えますが、建物の解体費用を1億5千万円と想定すると、坪単価3万7千円になり決して安くありません。建物も耐震基準がある程度クリアしているので、これを活用して収益を上げる計画とする考えがあるか伺います。

町長 建物の価値はゼロとなつていますが、使える可能性はあるので色々な提案をしてもらい、そこで判断していこうと思います。

【市川隆子 議員】

議員 土地は目的があつて購入するものですが、町の土地購入は逆で、購入後に考えるということですか。

購入後は、町、町民にとって良い方向での活用方法を検討してほしいと思います。見解を伺います。

町長 町が土地を購入するときには、目的がなければ買うべきではないと思

いますが、交通形態が変わってしまったため、いくつかのプランを白紙に戻すことになりました。

今後は、一番適切な使い方を含んで考え、町の活性化につなげるようにしたいと考えています。

平成30年度白子町一般会計歳入歳出決算認定について

認定第1号

【宗島理仁 議員】

議員 産業医報酬及び産業医委託料がありますが、主にどういった相談内容が多かったのか、相談内容で町の対応が必要なものがあつたのか、相談内容の把握状況はどうなつてい

のか伺います。

総務課長 産業医については、ストレスチェック

を行った結果、2名が利用しました。相談内容等については、把握していません。

【東海林東治 議員】

議員 定住施策推進事業委託料5百68万5千円の具体的な内容、観光活性化事業委託料1千6百87万6千円の内容、サッカー場購入部分と借地部分の比率の説明を伺います。

総務課長 移住定住の管理運営及び情報発信業務委託で、(株)リックです。

【市川隆子 議員】

議員 就学援助は、PTA会費など3会費を実施すると議会で答弁して、ほかに先がけて実施していたと思いますが、クラブ

【市川隆子 議員】

生涯学習課長 サッカー場の面積1万5千5百69㎡の内、未契約の土地は約1千2百㎡で88%を購入済みです。

活動費がないように思いますが理由を伺います。

教育長 町では現在、入学金、生徒会費、学用品、通学用品、PTA会費等になっていきます。

クラブ活動は、学校の課外活動として別枠になつているため、就学援助の趣旨とは違うと思います。

ただ、議会答弁については調べて、お答えしたいと思います。

【大和正之 議員】

議員 学校プール監視員賃金ですが、監視員が見つからず、プール開放が遅れたようですが、遅れた理由と監視員が一般人で事故があつた時に問題無いのか伺います。

【市川隆子 議員】

教育課長 監視員は、専門知識・技術を持った方を探しましたが確保できず、安全面を考慮して休止としたのですが、要望等を受け、研修等を行い安全を確保したうえで開放しました。

※その他は、広報しらこ10月号をご覧ください。

編集後記

この度の台風15号及び台風19号により、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。本年は皇太子殿下が新天皇に即位され、新しく令和の時代が幕開けしました。

他には働き方改革法の施行やG20大阪サミットの開催、消費税率の引き上げなど、色々と目白押しな一年です。そして来年には東京オリンピックと東京パラリンピックが開催されます。

私たち白子町も時代の変化に取り残されないうよう、しっかりと追従していかなければなりません。

白子町議会議員も12月には任期を迎え、その後は議会広報編集委員会も新体制となります。この4年間ご愛顧頂いた町民の皆様にご心よりお礼申し上げますと共に、これからもご支援ご協力をお願いいたします。

北田 百人